

地中熱利用でラムサール条約にも貢献



東よか干潟ビジターセンター ひがさす

東よか干潟ビジターセンター「ひがさす」はラムサール条約に登録されている「東よか干潟」の観光、学習、交流施設です。館内には干潟の生き物の標本等が展示されている展示室、地上13mの高さから360°見渡すことができる展望フロアがあります。展望フロアからは景色のほか、干潟の生き物も観察可能で実際に見て楽しむことができます。その「ひがさす」において、再生可能エネルギー熱である地中熱を利用した空調システムが導入されています。館内に設置されている大型モニターから地中熱利用の仕組みや省エネ効果について確認することができます。

ヒートポンプ導入による効果

消費電力量削減量(令和3年度実績値): 14,269kWh
二酸化炭素排出削減量(令和3年度実績値): 8.26 t-CO₂/年

システム系統図



機械置き場外観



見える化展示



所在地	佐賀県佐賀市東与賀町
用途	空調
熱源	地中熱
設備仕様	水冷式ヒートポンプチラー(冷温水切替型)×1台、放射パネル、FCU、自動制御盤、見える化、ボアホール(100m)×16本
補助金	2018年度(平成30年度)再生可能エネルギー電気・熱自立的普及促進事業第2号事業 事業化計画策定事業 2019年度(平成31年度)再生可能エネルギー電気・熱自立的普及促進事業 第1号事業 再生可能エネルギー発電・熱利用設備導入促進事業

ZO ZENERAL HEATPUMP
ゼネラルヒートポンプ工業株式会社